



皆龍寺報 とびら

2023年1月1日(日)発行
第43号

真宗大谷派 皆龍寺
山形市大字門伝100
TEL 023(643)3037
kairyuji.monden@gmail.com
https://kairyuji.mydns.jp

皆さん、どう思いますか。だから信者の家族でも、子供のためと思って貯めた貯金も親のために捧げるのが当たり前になってきます。そしてその信者の親も、その親の「文鮮明」に捧げるのが当たり前になるわけです。そういう原理で統一教会が成り立っているのです。でも、それが本当の「家族」でしょうか。

今年こそは、平和で安らかな年になりますように。元総理銃撃事件に始まる統一教会問題、類を見ない円安と物価高など激動の一年だったように思います。歴史を見ても、社会不安が大きくなるとデマや陰謀論が横行します。不安により冷静でいられないのでしよう。こんな時代だからこそ、仏の目で冷静に物事を見る必要があるように思います。

昨年、話題になったことは、たくさんありますが、私にとつてのトップニュースは「旧統一教会問題」です。私、仏教の宗教者としての立場からもそうですが、人間としての根本において考えるべき問題だと思っています。これには、たくさん問題を含んでいますが、一番問題にしたいことは、「親子」という問題です。統一教会の中心思想は、教祖である「文鮮明」夫婦が人類の親である、という思想です。そして信者たちは文鮮明の子供である、というわけです。だから子供である信者は親である文鮮明に尽くすのが当たり前である、という考え方であります。

本当の家族ならば、子供が苦しんでいたなら、親は苦しんでいる子供を救うのが自然ではないでしょうか。子供にサタンがとりついているなら、その親である文鮮明がその霊力をもって救うべきでしょう。サタンを取り払うために、もっと文鮮明に献金しなければならぬ、というならば、文鮮明はサタンの仲間だ、という事になってしまうのではないのでしょうか。その辺を見抜けない程マインドコントロールされているのでしょうか。人間の一番大事な「親子」を担ぎ出して、しかも「親子」関係を逆手にとつて、人の心をコントロールしてしまうのは、あまりに悲しすぎます。

「家族」を考える

二十一世紀という時代(十七)

2023年

皆龍寺年間行事

(コロナ禍の状況によって中止もあり得ますのでご了承ください)

1月25日 (11時~13時)	おやすみ	
2月25日 (11時~13時)	おやすみ	
3月25日 (11時~13時)	おやすみ	
4月13日 (10時~15時)	永代経	【お当番 新屋敷・柏倉組】
5月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 悪戸組】
6月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 門伝上中組】
7月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 皆龍寺】
8月13~15日	孟蘭盆会	
9月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 門伝下新屋敷組】
10月25日 (11時~13時)	お講	【お当番 荻ノ窪組】
11月13日 (10時~15時)	報恩講	【お当番 村木沢組】
11月 ~ 12月	お取越	(思案中)
12月31日	除夜の鐘	修正会

後記

元総理銃撃事件に始まる統一教会問題、類を見ない円安と物価高など激動の一年だったように思います。歴史を見ても、社会不安が大きくなるとデマや陰謀論が横行します。不安により冷静でいられないのでしよう。こんな時代だからこそ、仏の目で冷静に物事を見る必要があるように思います。

副住職 記

続く
コロナウイ
ルスの流
行やロシ
アのウク
ライナ侵
攻、安倍

皆龍寺メールアドレスと LINE 公式アカウントのお知らせ

最近では、様々な企業でペーパーレス化が進み、お知らせなども封書やハガキではなく、インターネットで確認する機会が増えてきました。世の中が「持続可能な社会」に向けて進んでいるのだと感じています。電子化は便利ではありますが、紙には紙のよさもあるのではないかと個人的には思います。

皆龍寺では、今までお送りしていた行事等のお知らせなどについて、現行通りの郵送と同時に、電子化希望の方のために、メールアドレスと公式LINEを開設いたしました。今後、郵送不要の方は、下記のメールアドレスにお名前をお書きの上、ご連絡いただきたく思います。また、従来どおりの郵送とメールまたはLINEでの配信を希望の方は、その旨をお知らせください。手探り状態でありますので、もし、ご不便な点、ご意見等ございましたら、お知らせください。副住職

メールアドレス

kairyuji.monden@gmail.com

ホームページもよろしくお祈りします

https://kairyuji.mydns.jp



LINE 公式アカウント



皆龍寺新執行部

前年度、総代役員でいらつしやつた清野彦四郎様が辞任なされました。皆龍寺運営・護持にご尽力くださいましてありがとうございます。また、新たな総代として悪戸の神保英敬様をご承認いただきました。これまで同様、皆龍寺護持のため、真宗興隆のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。なお事務が遅れ、ご報告も遅れてしまったことをここに詫言申し上げます。

新執行部

代表役員	榊 法存
責任役員	榊 法盡
総代責任役員	吉田 吉弘
総代	神保 貴
総代	飯野 典男
総代	宮部 保夫
総代	神保 英敬

皆龍寺サンガスクール

今年はコロナの大流行で40年間続けてきたバレンタインのチョコ作りができませんでした。

秋には今年も本山からお誘いを受けてウェブで「子供報恩講」に参加することができました。当寺は午前十一時に集合し、朝早くから作ってくださった大好物の悪戸芋の芋煮をたくさん食べて、十二時からの配信に皆龍寺本堂で臨みました。先ず本山の御影堂に居る如く、本山参拝組とお勤めをし、狐野秀存先生のお話を聞くことができました。その後、本山のお兄さんお姉さんにクイズをしてもらい、ウェブ組の四ヶ寺で挑みました。見たことのないような本山の大きな柱や彫刻などのクイズでしたが、皆一生懸命考えて答えました。

ウェブ配信が終わり、庫裏で手作



坊守記

りのピザや本山からいただいたグッズをお土産としました。心にもおみやげできたかな。

また、二〇二三年五月五日は、宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃事業「子どものつどいin東本願寺」に上山して参加予定です。

皆龍寺女のつどい

今年もまたまたコロナの大流行のため、いろいろな行事ができませんでした。それでも六月の総会ができてほっとしたのも束の間、十一月十三日の報恩講も延期となってしまいました。女のつどいの会員に、帰敬式を受けたいと言ってくださる方々がおられます。そこで、新年会の日帰敬式をと考えているところです。本来帰敬式は生きていく間に受式し、法名をいただくものです。私も受けていません。皆様、御一緒に受式されませんか。

坊守記